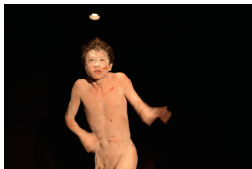


美学校アニュアル・レポートは、美学校の“今”を感じていただくための試みです。今年で三回目となる今回の美学校アニュアル・レポートでは、展覧会、公演、レクチャーを行います。展覧会では、現代美術家であり写真家でもある松蔭浩之と写真家の西村陽一郎の二人による写真展、イラストレーションやアート方面での活躍がめざましい小田島等による展覧会、そして作品と身体、身体と音をつなげる加藤啓と浦邊雅祥の展示とパフォーマンスを行います。舞台公演では、舞踏を支えてきたベテランの舞踏家と若手の舞踏家家の公演、独自の「劇」を展開してきた芥正彦の公演を行うとともに、過去数十年分にわたる貴重な舞踏の写真展を行い、舞踏の歴史の一端を紹介します。また、レクチャーでは、現代美術、イラストレーション、舞踏、写真の四分野の体系的な歴史を学ぶ講義を行います。



中西晶大



芽衣桃子



大倉摩矢子 ©神山貞次郎



ラビィ



田中誠司 ©吉藤日出旗



武田幹也



上杉満代 ©神山貞次郎



小林嵯峨 ©小野塚誠



芥正彦



結城一糸



大森政秀 ©高橋成忠



石井満隆

中西晶大 NAKANISHI, Masahiro

1980年、和歌山生まれ。21の時に旅したインドでカルチャーショックをうける。23歳、表現方法を求め東京・役者活動を開始。27歳、舞踏の世界に足を踏み入れる。同7月、シアターXにてソロデビュー。29歳、石井満隆に師事。2010年5月、初の単独ダンスソロ『層』発表。同12月、東京バビロン「ニジンスキーな海辺で#1」参加。他、寺院、公園、ギャラリなど場所を選ばず表現している。

芽衣桃子 MEI, Momoko

2001年9月より、舞踏、北辰の会<大竹有照主催>にて舞踏をはじめ。テルプシコール舞踏新人シリーズ第2弾、北辰舞踏公演に3回参加する。四ツ谷の生涯学習会館にて独自の活動をはじめ、独舞を行う。

田中誠司 TANAKA, Seiji

舞踏家。1977年奈良市生まれ。2006年舞踏家、大野慶人に師事。2007年映像作品「憧れ sehnsucht」大野一雄と大野慶人の日常を綴る写真コラージュ。2008年舞踏ソロ「シンダテンシ」シュトゥットガルト、ソンマーライン教会。2009年舞踏デュオ「死の夢」東京ワールシアター。2010年舞踏ソロ「Remember」中野テルプシコール。静かに行く者は、遠くまで行く。

武田幹也 TAKEDA, Kan-ya

秋田生まれ。2009年4月～2010年3月独舞十二回公演「独行道」を中野plan Bにて敢行。現在、舞踏スターになるため訓練中。

大倉摩矢子 OHKURA, Mayako

1977年岡山市生まれ。1999年より舞踏家大森政秀(天狼星堂主宰)に師事し、天狼星堂舞踏公演に出演している。2001年より、ソロでも踊り始める。主なソロ「微熱な日々」「明るさの淵」他、野外・美術館・美容室等でも踊る。2002年ラボ20#13に出演し、ラボ・アワード受賞。2004年第35回舞踊批評家協会賞新人賞受賞。

ラビィ La Vie

映像制作、キャパレショーダンサーなどを経て'02年より舞踏へ。'03年～舞踏家・上杉満代に師事。上杉満代+アヒルスタジオ作品、国内外全てに出演。'07年よりソロ公演開始「ラビィsolo-わたしのの中のひとりを救出せよ-」plan-B/。'10年「休息日-HOLY DAY-」テルプシコール / 劇衆・上海素麺工場「羅紗面天鞋羅」出演。

ホモフィククス 芥正彦 ACTA Masahiko

プロフィール?もう忘れた——。原爆が爆発し、ほどなく私という恥辱が生れ、そいつは分裂し、増殖し、多様体の流れとなり、強度を獲得し、上部を突き抜け、下部を突き抜け、破裂してそこいらの劇場中降りそそぎ、ふたたび私という基底材となって集合し、今でも首にぶら下って回転しているこの石臼!

こいつだけが私のかわりに生きのびつつけていくのだろう。

結城一糸 YUHKI, Isshi

長い歴史を持つ結城座、十代目結城孫三郎の三男として1948年に生まれる。5歳、初舞台。1972年、三代目結城一糸を襲名。古典的な糸あやつり人形芝居の継承者の中核を担いながら、前衛的な演出家と斬新な芝居作りを展開する。2003年、結城座から独立。2005年、田中純と共に「江戸糸あやつり人形座」を旗揚げ。古典糸あやつり人形の新たな掘り起こしと、新作においては、実験的な演劇を次々と産み出している。現在、「江戸糸あやつり人形座」代表。

上杉満代 UESUGI, Mitsuyo

福岡に生まれバレエを踊り絵を描く多感な青春を過ごし東京。1972年舞踏家大野一雄氏の踊りに衝撃を受け門下。75年舞踏ソロ(紅蓮夜曲)レビュー後、ソロ活動開始。87年～90年渡仏、コンテンポラリーダンサーとして生活。帰国後演劇他分野の交流を経て個のメランコリアを追求の為のソロ舞踏秘儀公演に執着。2009年～2010年(ベイビーメランコリア-夢六夜-)に於いて2010年舞踊批評家協会賞受賞。近年は故郷福岡のテント芝居(上海素麺工場-主宰支那海東-)等に参加。新たな活動を始める。http://www.uesugimitsuyo.com/

小林嵯峨 KOBAYASHI, Saga

1969年～75年、土方巽に師事し、『四季のための二十七晩』『夏の嵐』など、この時期のすべての土方作品に出演。75年、独立して慧星倶楽部結成。80年、土方巽「日本の乳房」で欧州巡演。97年より「アウラ」シリーズを発表。フィンランド、アジア等海外公演多数。現在、NOSURIを主宰し国内外で活動。ワークショップも開催中。著書「うめの砂草」(アトリエサード)。http://kobayashi-saga.jp/

大森政秀 OHMORI, Masahide

1949年北海道三笠市生まれ。少年期アンモナイト採集の日々。'69年「舞踏弾丸」発射。'72年大使館(笠井勲主宰)入館。'78年「天狼星堂」設立。'82年「アンモナイトの爪」シリーズ開始。'83年土方巽構成・演出「景色へー廻の髪型」。同年「一千三夜物語」にて舞踏の異兄弟達と交流。代表作に「総集版・アンモナイトの爪」「そのままで」。国内外で公演多数。第40回(2008年度)舞踊批評家協会賞受賞。天狼星堂主宰。

石井満隆 ISHII, Mitsutaka

小豆島に生まれる。石井漢に師事。61年土方巽「暗黒舞踏派」に参加。「舞踏ジュネ(石井満隆DANCE EXPERIENCEの会、ガルメラ商会謹製)」「おじゅね抄」等に出演。69年独立。71年渡欧。以後、英、独、仏を中心に活躍。79年渡米、翌年に帰国して後も国内外で活動。青森、青南病院にて舞踏療法を实践。06年ガラ公演「百花繚乱」百歳の太野一雄に捧げるオマージュ、「大野一雄フェスティバル2009」等に参加。

■ 奇妙な物質のささやき II 〇

テルプシコール 4月15日～17日/22日～24日

15日(金)19:30～ 中西晶大(舞踏) / 芽衣桃子(舞踏)

16日(土)19:30～ 田中誠司(舞踏) / 武田幹也(舞踏)

17日(日)18:00～ 大倉摩矢子(舞踏) / ラビィ(舞踏)

22日(金)19:30～ 芥正彦(息・言葉・肉体) + 結城一糸(人形・息) + 田村泰二郎・平井賢治(舞踏)

23日(土)19:30～ 上杉満代(舞踏) / 小林嵯峨(舞踏)

24日(日)18:00～ 大森政秀(舞踏) / 石井満隆(舞踏)

照明・音響: 曾我傑 舞台監督: 岡田隆明 企画: 竹重伸一 / 大森政秀